



経腸栄養法について
・栄養剤投与後の注意点！



栄養剤が終わった後、白湯でフラッシュしますが、チューブの分岐部に栄養剤が残っていることがあります。

この状態では、**残留栄養剤に細菌が繁殖し下痢を誘発する可能性**もあります。

栄養剤が残らないようにしてください！

(フラッシュの量は20～30ml程です。)

ポイントは、圧をかけて勢いよくフラッシュします！

(NSTマニュアルを参照してください)

NST専門療法士 花原貴

がん患者の意思決定支援

緩和ケア認定看護師
清武 香

がん患者特有の課題

- 短期入院や外来治療が中心となり、看護師の関わる機会が少ない
 - 患者・家族が「まだ治療中だから」と今後の経過や看取りに向けた話し合いに抵抗感を持ったり、相談を調整する機会が遅れる
- 患者・家族の意思決定パターンを見極め、話し合うタイミングを見計らいチームで対応していくことが必要です。

☆意思決定支援のポイント☆

- 1.患者・家族へのケアについて、何を優先して関わるか、何をケアの目標にするか方向性や目標をチーム間で共有する
- 2.患者にとって「何がよりよいか」をチームで倫理的に考える。
- 4.患者の多様な価値観をありのまま受け止めつつ、できるところから適切に患者・家族を支える制度や地域のリソースにつないでいく

患者・家族が納得のいく人生を送れるように、がんと向き合った時から様々な場面で適切な情報提供と意思決定支援を継続することが大切です。

認定看護師の活用もご検討ください！！

治療方針についていがある、不安が強い、意思決定支援で行き詰っているなど・・・主治医より指示をいただければ認定看護師が面談を行います。

緩和ケア専従看護師 児玉 (7914)

緩和ケア認定看護師 清武 (5病棟)

がん化学療法看護認定看護師 前村 (7488)

にご相談ください。

